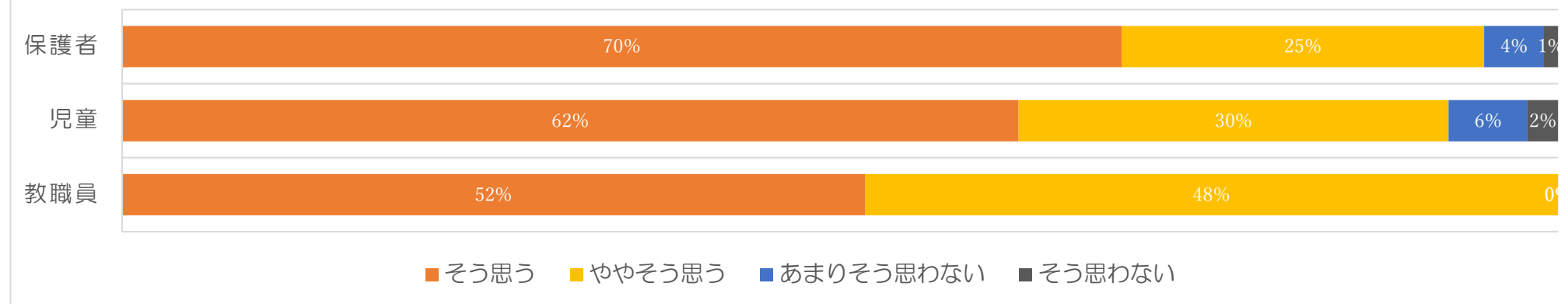


令和6年度 坂戸小学校 学校評価アンケート結果報告

保護者の回答、児童の回答、教職員の回答を比較しながら、成果と課題について分析しました。尚、質問項目につきましては、簡略させていただきました。

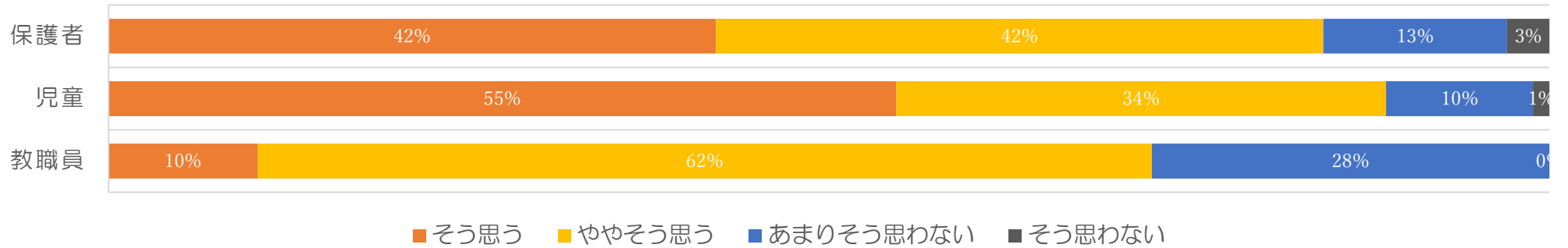
1. 楽しく学校に通っています。



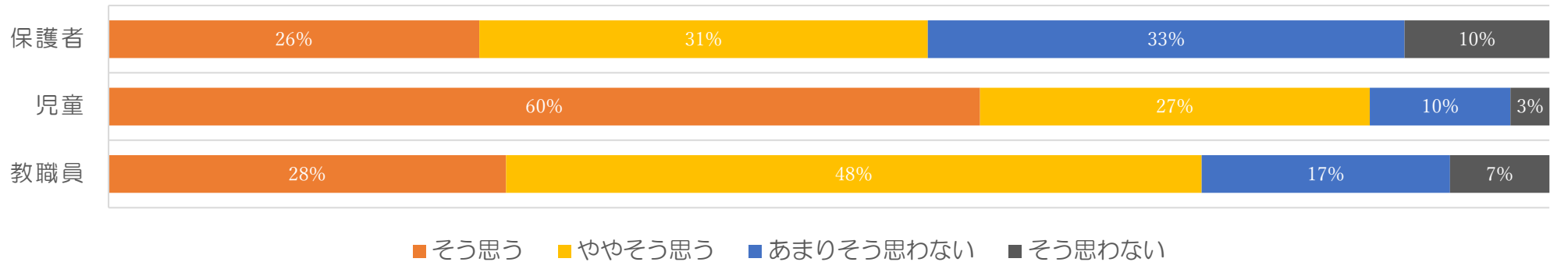
保護者は「そう思う」「ややそう思う」を合わせて95%と、昨年度と変わりませんでした。児童は「そう思う」「ややそう思う」の回答が昨年度より5%増えています。校庭が使用できなくなって、2年半が経ちました。教室や屋上、体育館、高津中学校の校庭など、様々な場所を活用しながら学習活動を進めてきました。その中で、教職員はどのような活動をすれば子どもたちが楽しく学校に登校できるか試行錯誤してきました。また、子どもたちも、今ある環境の中でどのように工夫して過ごせばいいのか考えて行動してきました。少しずつですが、このような環境に慣れ、活動することができるようになってきたと考えます。また、「そう思わない」「あまりそう思わない」の回答が2~6%あります。この意見も真摯に受け止めていくことが大切だと思います。来年度は、新しい校舎での学習が始まります。新しい環境の中で学校が楽しいと思える魅力的な教育活動を実践していきたいと思えます。

明るく健康な子

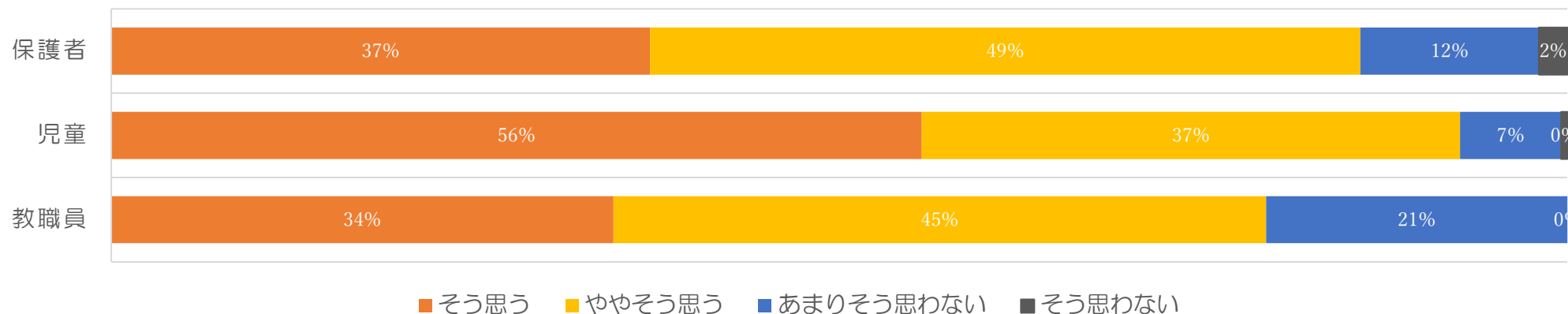
2. 自分から進んで返事やあいさつができます。



3. 学校で元気よく体を動かしています。



4. 日頃の生活の中で、自分の健康や安全について意識しています。



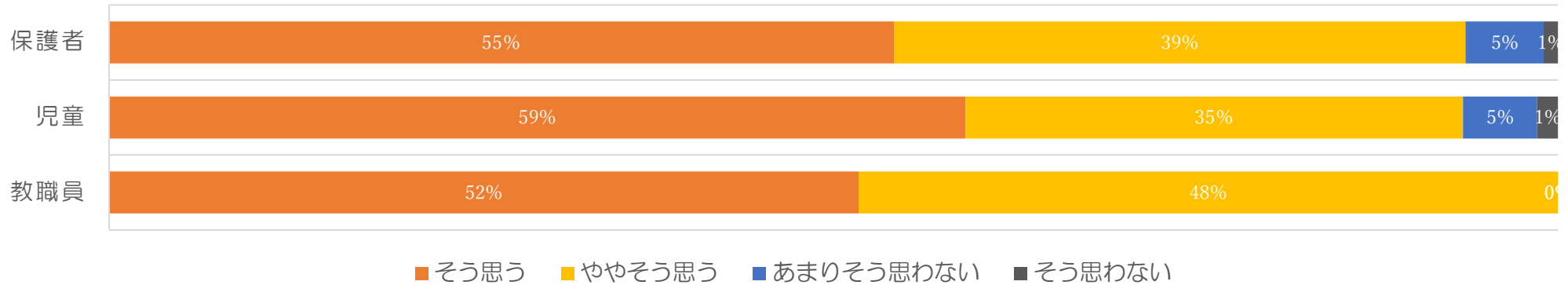
2では、89%の子どもたちが「そう思う」「ややそう思う」と回答していますが、教職員の回答では28%が「あまりそう思わない」と回答しています。保護者の84%の「そう思う」「ややそう思う」の回答を鑑みると、学校よりも家庭では進んであいさつをすることができているのではないかと考えられます。明るい学校の原点ともなるあいさつが、学校でも進んでできるようになることが必要です。

3では、85%以上の子どもたちは学校で元気よく体を動かすことができると回答しています。教職員の回答をみても75%以上が「そう思う」「ややそう思う」の回答であり、体育の授業で高津中学校の校庭を活用していることや、委員会やクラスなどでの集会活動などで体を動かす機会を意図的に増やす活動を行っていることが結果につながったと考えられます。それらの活動や工夫を保護者の方々に発信することが少ないことが、保護者の40%以上が「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答理由の一つと考えられるので、今後の課題と考えています。

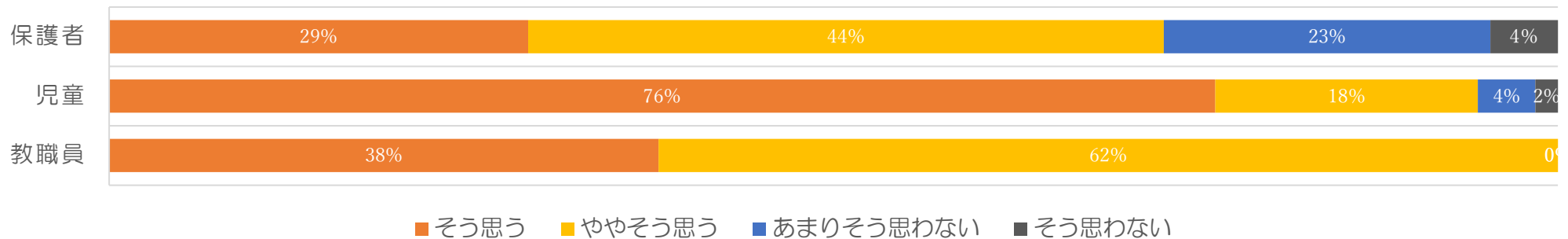
4では、90%以上の児童が「そう思う」「ややそう思う」の回答をしています。今年度は校庭がないので、けがが少ないことや安全な学校生活を送ることができていると捉えています。けがのみならず健康を考える上で、手洗いうがいはもとより、食育の面なども大切な要因であると考えます。給食では栄養士による巡回指導や養護教諭による保健指導など健康についての指導を行っています。各ご家庭でも保護者の方々に健康安全面では多大なるご協力をいただいています。この場を借りてお礼申し上げます。

やさしく思いやりのある子

5. 学校で友達にやさしくしたり周りの人のことを考えて行動したりしています。



6. 学校で困った時に友達や先生に相談しています。

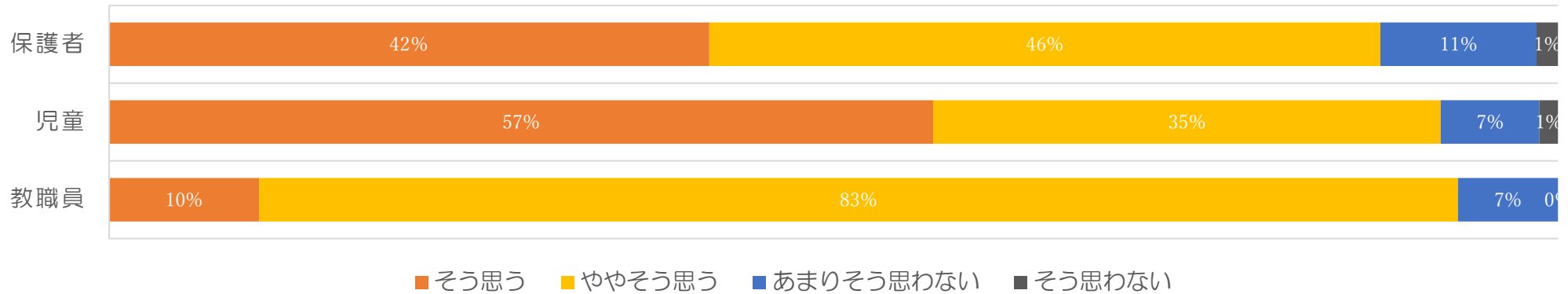


5 では、保護者・児童・教職員ともに「そう思う」「ややそう思う」という回答が90%を超え、昨年度に引き続き坂戸小の児童の素直で優しい側面が現れているように思います。数%「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答があることを踏まえ、今後も特別活動・共生共育プログラム・人権尊重教育などを計画的に実施し、自他共に大切にすることを育てていきます。

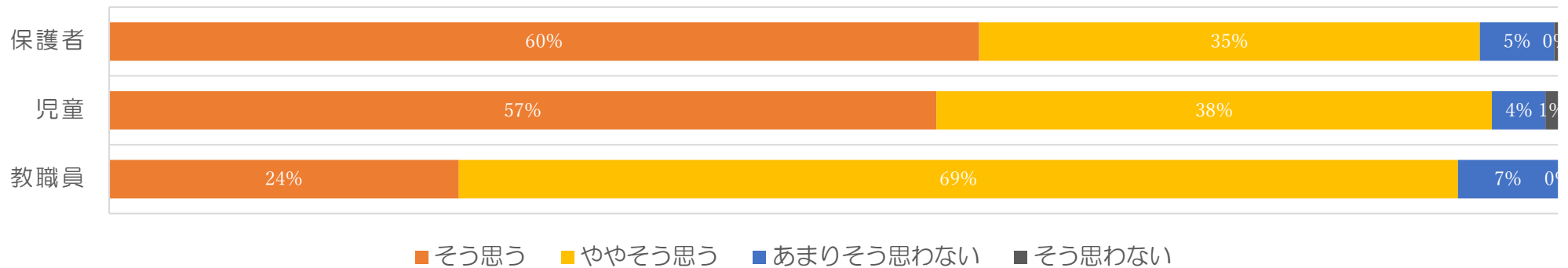
6 では、昨年度同様90%以上の児童は「そう思う」「ややそう思う」という回答をしています。一方保護者は、昨年度同様児童・教職員に比べ「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が多い結果となりました。児童は家庭で、友達や先生に相談したり解決したりしたことはあまり話さず、相談せずに困っていることを話しているとも考えられます。先生に相談するよう促しつつ、話の中で気になることがあれば遠慮なくご連絡ください。ご家庭と協力して児童を支えていきたいと考えます。学校で相談できていない児童の中には、「先生に言う(相談する)」ことを友達からどう思われるかを気にしすぎたり、援助要求が苦手だったりするケースもあるように思います。引き続き相談しやすい雰囲気づくりを大切にしながら、一昨年度より実施している「SOSの出し方・受け止め方教室」も継続していきます。

よく考え行動する子

7. 学習内容を理解しています。



8. 約束を守って行動しています。

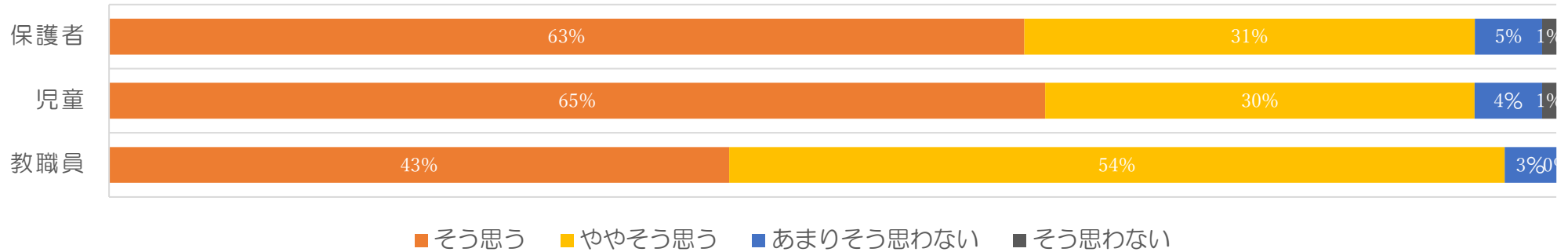


7では、「そう思う」「ややそう思う」が保護者・児童・教職員共に80%以上になっていますが、「あまりそう思わない」「そう思わない」という意見も数%あります。指導や支援の方法について研鑽を積み、児童らにできる喜びや分かる楽しさ、集団で学ぶよさを味わわせられるよう、さらなる指導力向上を目指していきます。また、引き続き、授業参観や個人面談などで学校での学習状況を伝えたり、家庭での児童の様子を聞いたりしながら、よりよい指導を考えていきたいと思えます。

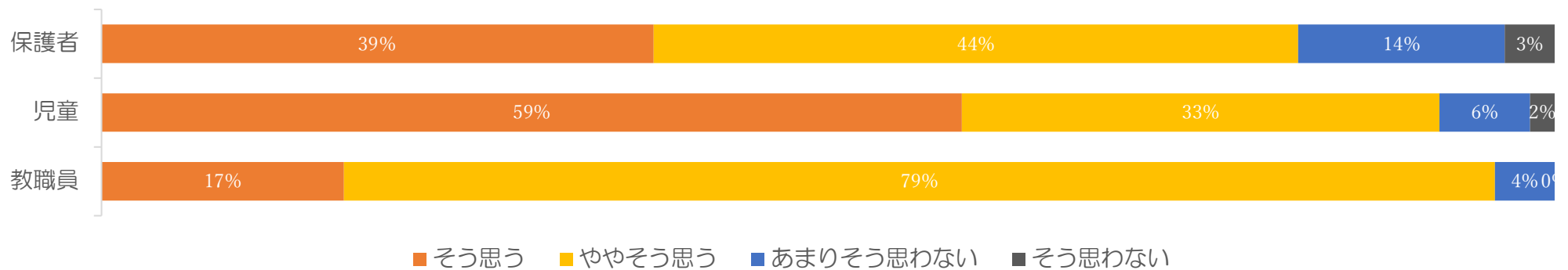
8では、保護者・児童・教職員共に「そう思う」「ややそう思う」が多いものの、学校に持って来てはいけないものを持って来てしまったり、遊び方やGIGA 端末の使い方トラブルが起きたりして指導をすることがあります。約束を守ることの大切さをその都度確認しながら、今後も継続して指導していきます。

最後までやりとげる子

9. 学校での自分の役割に責任をもち、工夫して取り組んでいます。



10. 困ったときや苦手なことにも最後まであきらめずに取り組んでいる。

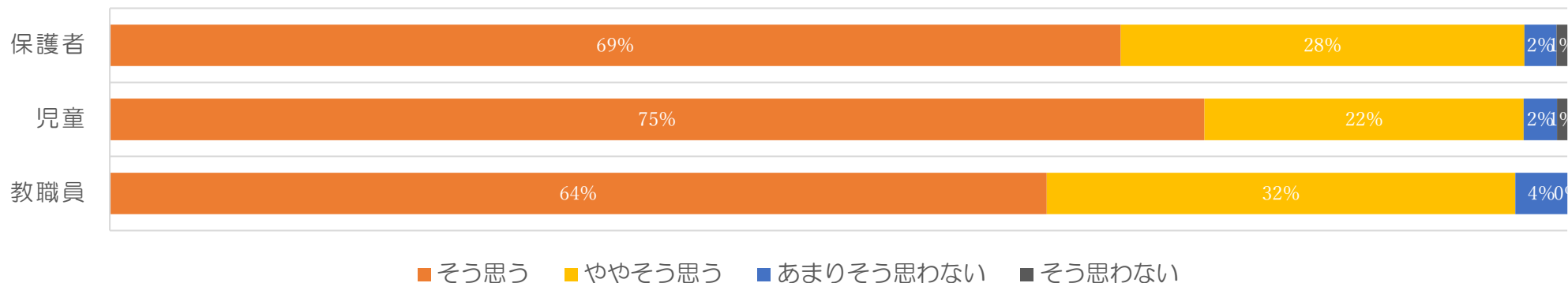


9では、保護者・児童・教職員とも、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は90%以上で、本校の強みであると考えられます。責任をもって取り組む姿は、どの学年にも共通しています。しかし工夫することに関しては、低学年では難しいことが多く、高学年では、できる児童とできない児童が2極化している傾向も見られます。当番、係活動、実行委員、委員会、クラブ、校外学習など、児童が積極的に取り組んでいける場を、これからも設定していきます。

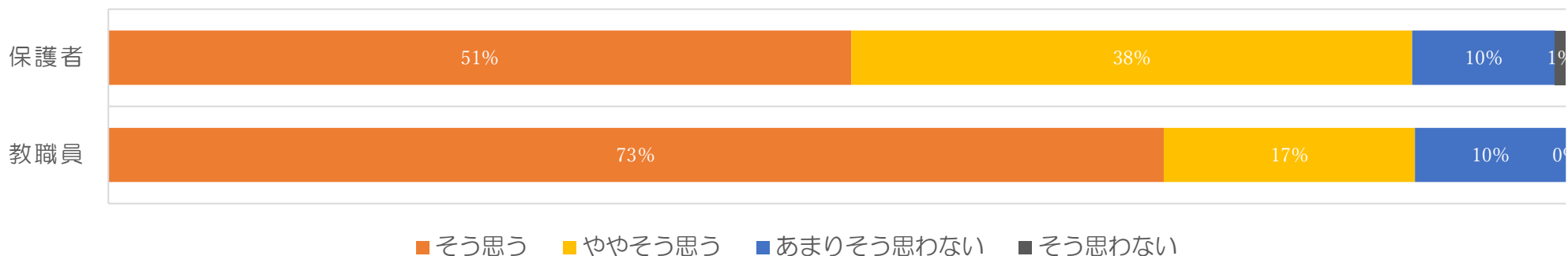
10では、保護者の「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が少し多くなっています。児童は、学校では自分の役割にがんばって取り組んでいます。学校での姿と家での姿に多少違いがあるのではないのでしょうか。また、児童の90%が最後まであきらめずに取り組んでいると感じているのは、児童があきらめそうになったときに、教職員やご家庭での支援があり、結果的に「最後まで取り組めた」結果であるとも考えられます。

地域とある学校

1 1. 坂戸小学校は、川崎市や地域のよさを活用した学習に取り組んでいます。



1 2. 坂戸小学校は、学校だより、懇談会、学校説明会、ホームページなどで学校の様子を伝えています。



1 1では、「そう思う」「ややそう思う」と答えた児童の合計は昨年度より14%増えています。本校では、各教科等の特質を踏まえ各学年の発達の段階に応じて「近隣の保育園（幼稚園）との交流」「畑を借りての大根栽培体験」「町探検」「市内めぐり」「消防署見学・体験」「ユークレナ社による出前授業」「ミットヨ工場見学」「フロンターレサッカー教室」等地域教材を生かした教育活動を行っています。また2024年は川崎市誕生100周年であり、学校や地域の良いところや学習したことを地域に発信する「学校e〜ね☆サミット」活動や小さい苗から花を育てる活動に取り組んできました。本校には有志による合唱団があり、地域に歌声を披露する場を設ける活動を行っています。これからも自分たちが住んでいる地域に感謝し、ふるさと意識を育てていきたいと思っています。

1 2では、「そう思う」「少しそう思う」が89%で、昨年度と同程度でした。授業参観や懇談会等で学校の様子を伝えてきました。来年度は新校舎での生活が始まります。保護者の方にも学校に足を運んでいただき、お子様の活動の様子をぜひご覧になっていただければと思います。今後も、ミマモルメやホームページ等様々な方法で学校の様子を発信していきたいと思っています。